

【資料】

## 第3回龍ヶ崎市道の駅整備基本計画策定検討会議

1. 第2回検討会議での主なご意見等 .....	1
2. モデルプラン .....	2
3. ゾーニング .....	3
参考資料 .....	6

平成28年10月27日

龍ヶ崎市総合政策部道の駅プロジェクト課

# 1. 第2回検討会議での主なご意見等

8月17日に開催した第2回龍ヶ崎市道の駅整備基本計画策定検討会議他での主なご意見、ご提言等を以下に示します。

表-1. 主なご意見等

種別	第2回基本計画策定検討会議 (平成28年8月17日開催)	初回基本計画策定検討会議 (平成28年6月23日開催)	意見交換会参加市民 (平成28年7月30日)	
休憩施設等 関連事項	<p>【トイレ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に女性に対する配慮が重要視される(バス旅行での団体等をも対象とした設置数や清潔感など)。</li> <li>設置位置(整備箇所)を含め、健常者とともに障がい者等にも十分配慮する必要がある。</li> </ul> <p>【多目的広場等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントや展示会など、多目的に使えるオープンスペースがあると良い。</li> </ul> <p>【駐車場】 ↗</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の出入り口は、国道6号の上下線から容易に進入出でき、また、当該道路の交通処理に支障をきたさぬように配慮しながら検討すべき。</li> <li>出入り口の構造は、普通自動車だけでなく、大型車やトレーラーの走行時にも配慮すべき。</li> <li>サイクリスト(特にロードバイク等)の受け入れ環境を整えるべき(茨城県では、コンビニエンスストアや道の駅の協力ののもと、サポートステーションの設置を進めている)。</li> <li>道の駅と佐貫駅とを結ぶシャトルバスを導入すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県内の居住者などを含め、休日に1・2時間でも過ごしてみたい滞在型の仕掛けづくりに取り組むべきだと感じられる。</li> <li>「赤ちゃんの駅」のような乳幼児がリラックスでき、親もほっとできるような空間は、極めて重要なものと考えられる。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多機能(オストメイト対応等)トイレや福祉車両対応駐車スペースなど、施設全体に対するユニバーサルデザインの徹底に努めるべきだ。</li> <li>温浴施設を備えてほしい。</li> <li>トイレは、まめに作るべき。</li> <li>おもてなしの心が溢れた千客万来の施設を目指すべきだ。 など</li> </ul>
情報提供施設等 関連事項	<p>【ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省で推進している無料Wi-Fi「道の駅SPOT」の導入を検討すべき。</li> </ul>	<p>【ソフト面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発信する情報は、本市だけにとどまらず、周辺市町との連携に努めるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域を含む観光案内など地域間連携を図っていくことが望まれる。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県南地域の拠点としての観光PR。 など</li> </ul>
地域振興施設等 関連事項	<p>【ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に当たっては、経済性に配慮しながら牛久沼の活用に努めるべき。</li> <li>トイレを含む施設の配置は、細長い敷地の形状と、この場内での動線や歩行距離などに十分配慮する必要がある。</li> </ul> <p>【ソフト面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売する農産物は、既存の八百屋等との競合は避けつつ、共存し得る方法を探るべき。 ↗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県のゲートウェイ機能を担うに当たっては、茨城空港や成田空港を利用するインバウンドをも対象に、無線LANの導入や首都圏中央連絡自動車道の県内全区間の開通効果を見据えた広域的な回遊ルートの設定など、その受け入れ体性を整えることが望まれる。</li> <li>牛久沼の活用については、周辺市町を含めたジョギングコースや散歩コースなど、広域的、段階的な整備を見込むべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事帰りに夕飯の野菜などを買っていく日常的な需要が期待できる。</li> <li>遊覧船の導入など水や水辺で楽しめる取り組みが望まれる。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真をはじめとする文化活動に取り組んでいる市民のためのギャラリーを設けるべきだ。 など</li> <li>道の駅に来て、遊んでまた家に帰るといった目的地になるような道の駅を目指すべきだ。 など</li> </ul>
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の種別や規模の設定に当たっては、予算規模に配慮する必要がある。</li> <li>計画に当たっては、学生等、若年者層の意見を反映すべき。</li> <li>周辺地域からも行ってみたいと思わせるイベントや施設が重要視される。</li> <li>地域に愛される施設を目指すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災機能の導入については、道の駅の立地特性を踏まえながら龍ヶ崎市としての必要性や位置づけを検討すべき。</li> <li>鉄道の駅から歩いて行ける道の駅であることを既存施設との差別化による売りにすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既成概念に囚われない龍ヶ崎市としての道の駅づくりを実現しないと、ただの休憩所になってしまう。</li> <li>長く続けていくためには、地元の方々に愛される施設であることが重要視される。</li> <li>防災機能の導入を見込むべき。</li> <li>「如何にリピーターを増やすか」及び「如何に他の道の駅との差別化を図っていくのか」などの課題に真剣に取り組んでいく必要がある。</li> <li>「どうやって買ってもらおうか」の前に、来場者に対し「どうしたら立ち寄りたくなるのか」という視点が重要である。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域を巻き込みながら県南地域の観光拠点として観光バスが止まる道の駅にしてほしい。</li> <li>何を目玉にするのか、何を特徴にするのかを表に出していくべきだ。</li> <li>多目的な利用方法として、国や茨城県と連携することにより良いものができる。</li> <li>施設の運営に当たっては、道の駅としての朝、昼、晩それぞれの役割に配慮すべきである。</li> <li>撞舞の撞柱のレプリカなど道の駅のランドマークを検討すべきだ。</li> <li>など</li> </ul>

## 2. モデルプラン

整備予定地の敷地形状にあわせたゾーニングを検討、設定することに先立ち、導入機能別の必要敷地面積及び計画延床面積等のモデルプランを立案します。

具体的には、本道の駅と立地条件や前面道路の自動車交通量が近似している近傍の既存の道の駅5駅※による年間利用者数や年間売り上げ及び機能別床面積などの営業実績等を踏まえ算定、設定した各機能のモデルプランを次表に示します。

※参考とした既存の道の駅：しょうなん（千葉県柏市）、まくらがの里こが（茨城県古河市）、思川（栃木県小山市）、しもつけ（栃木県下野市）及び庄和（埼玉県春日部市）

表－2.（仮称）道の駅龍ヶ崎のモデルプラン

種別		計画面積※ (m <sup>2</sup> )	施設概要等	
休憩施設	トイレ	女性用	170	便器数 26 基
		男性用	80	便器数 大4基、小 12 基
		計	270	多目的1基 (20m <sup>2</sup> ) 含む
	情報発信スペース		60	
	駐車場	小型車用	-	約 130 台～約 190 台分
		大型車用	-	32 台分
計		-		
小計		330		
地域振興施設	物販施設	売場	330	平台陳列台、多段式陳列台、冷蔵ケース、レジ、サッカー台など
		バックヤード	160	バーコードラベラー、荷造りスペース、冷蔵庫など
		計	490	
	飲食施設① (フードコート)	客席	140	100 席程度
		厨房	100	4ブース程度
		計	240	
	飲食施設② (レストラン) : 別棟	客席	115	50 席程度
		厨房	35	
		計	150	
	付帯施設	事務所	60	職員6～8名、会議スペースなど
		更衣室	20	従業者 30 名分、休憩室など
		トイレ	5	従業者用
倉庫		130	防災器具などの収納庫など	
通路他		345		
計		560		
小計		1,440		
合計		1,770		

※概略敷地面積を示す「駐車場」を除く「計画面積」は、建築物の床面積を示します。



### 3. ゾーニング

#### ■ A案

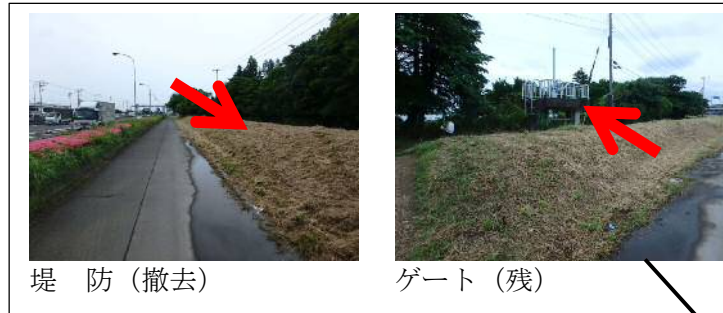
##### ● 検討条件

- ・ 検討区域（計画地）は龍ヶ崎市・河内町共有地の約 3.2ha、うち道の駅施工区域は約 2.5ha を予定
- ・ 国道 6 号への接続は 2カ所、北側出入口については下り交通（左折イン・左折アウト）のみ
- ・ 計画地盤高は Y.P.+7.50（T.P.+6.66）ほぼ現況高とし、建物のみ床面を Y.P.+8.50（T.P.+7.66）とする
- ・ 既存の堤防（高 1.0m、幅 7m）は撤去、ゲート（逆流防止のための施設 1 箇所）は残す
- ・ 牛久沼側には、牛久沼活用的一端を担うために遊歩道を設置

##### ● 検討方針

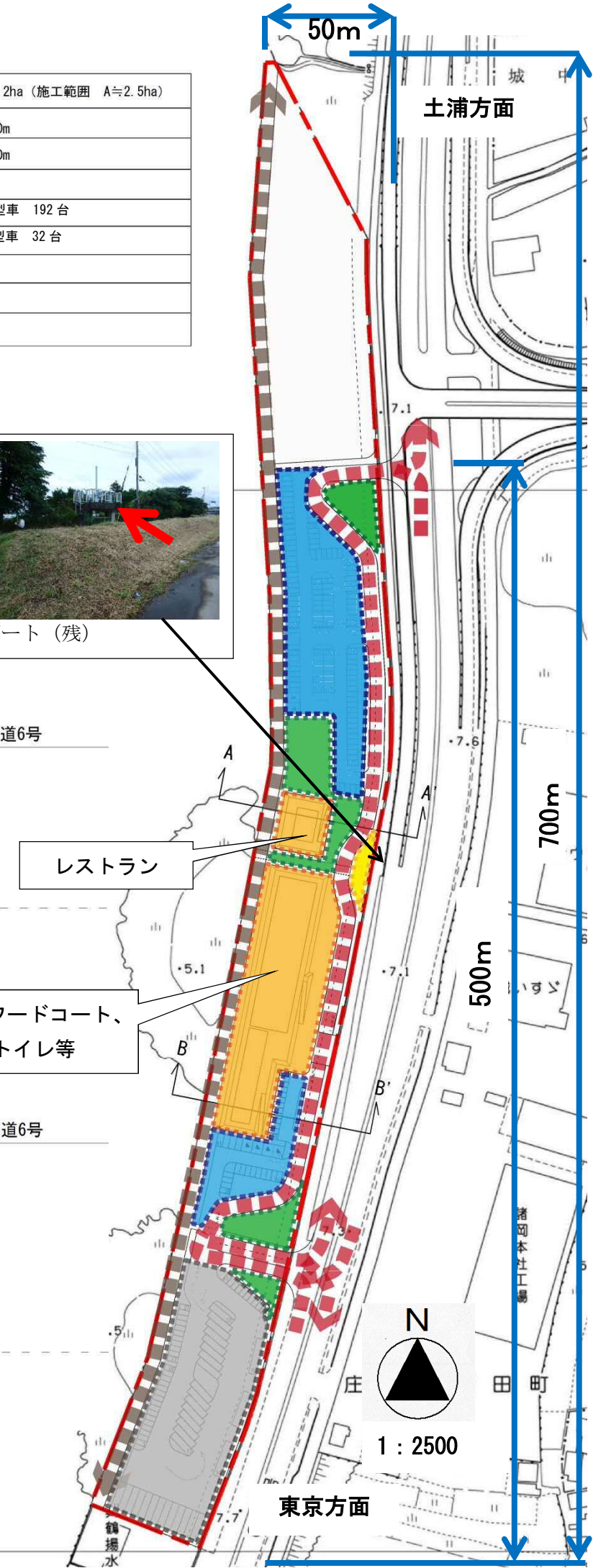
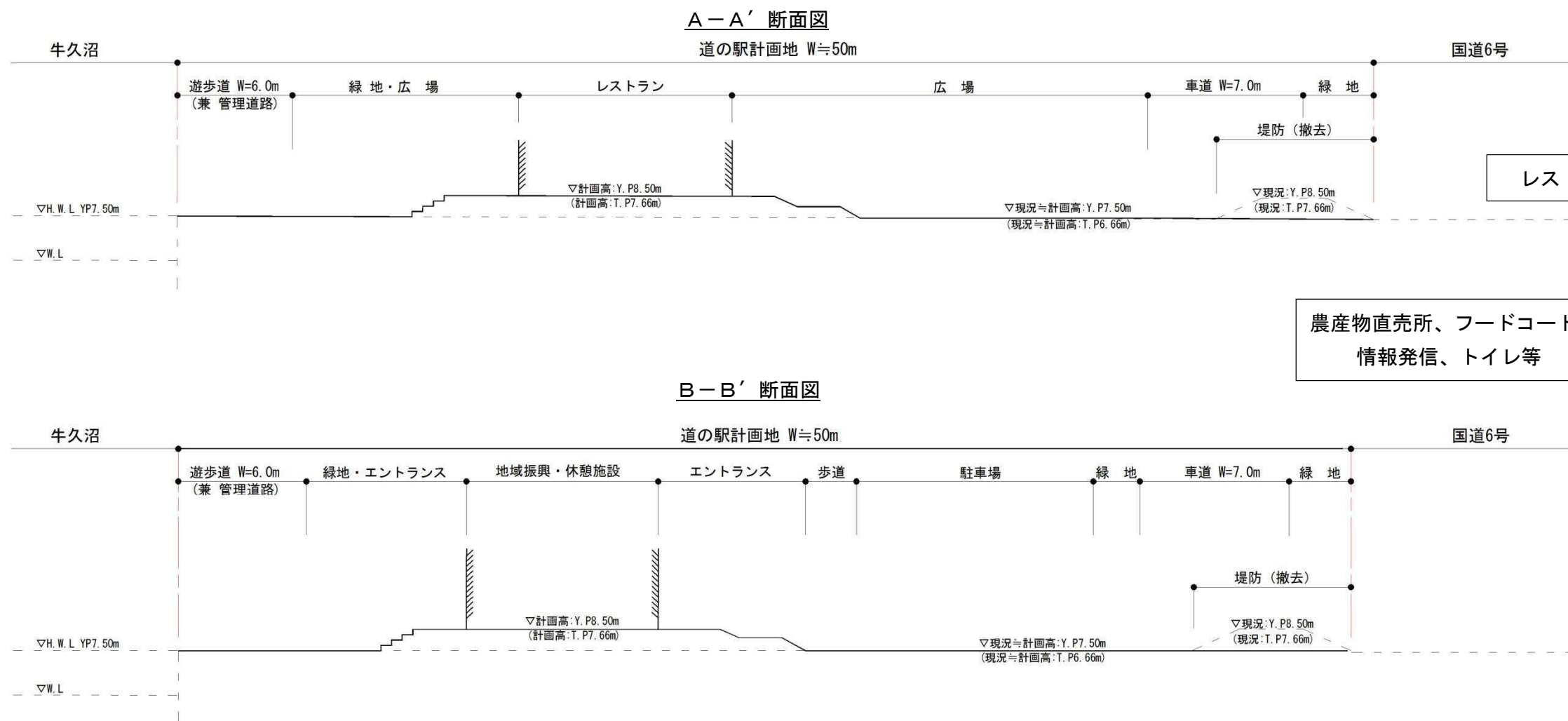
- ・ 地域振興（農産物直売所、フードコート等）、休憩施設（情報発信、トイレ）は計画地の中心に配置、規模は 1,620 m<sup>2</sup>を想定
- ・ レストランは、地域振興施設と分け差別化を図る。規模は 150 m<sup>2</sup>を想定
- ・ 地域振興施設、休憩施設等の建物は、地上から 1.0m 上げるためバリアフリー対策としてスロープ設置で対応
- ・ 小型車用駐車場は 192 台（身障者用 6 台、集荷用 4 台含む）を想定
- ・ 大型車用駐車場は 32 台を想定
- ・ レストラン周りの緑地広場は、イベント広場等として活用（約 1,200 m<sup>2</sup>）

	計画地	A≒3.2ha（施工範囲 A≒2.5ha）
	車両動線	W=7.0m
	遊歩道（歩行者動線）	W=6.0m
	地域振興・情報発信・便所等施設	
	駐車場（小型車用）	小型車 192 台
	駐車場（大型車用）	大型車 32 台
	緑地広場	
	ゲート	



堤防（撤去）

ゲート（残）





## ■ B案

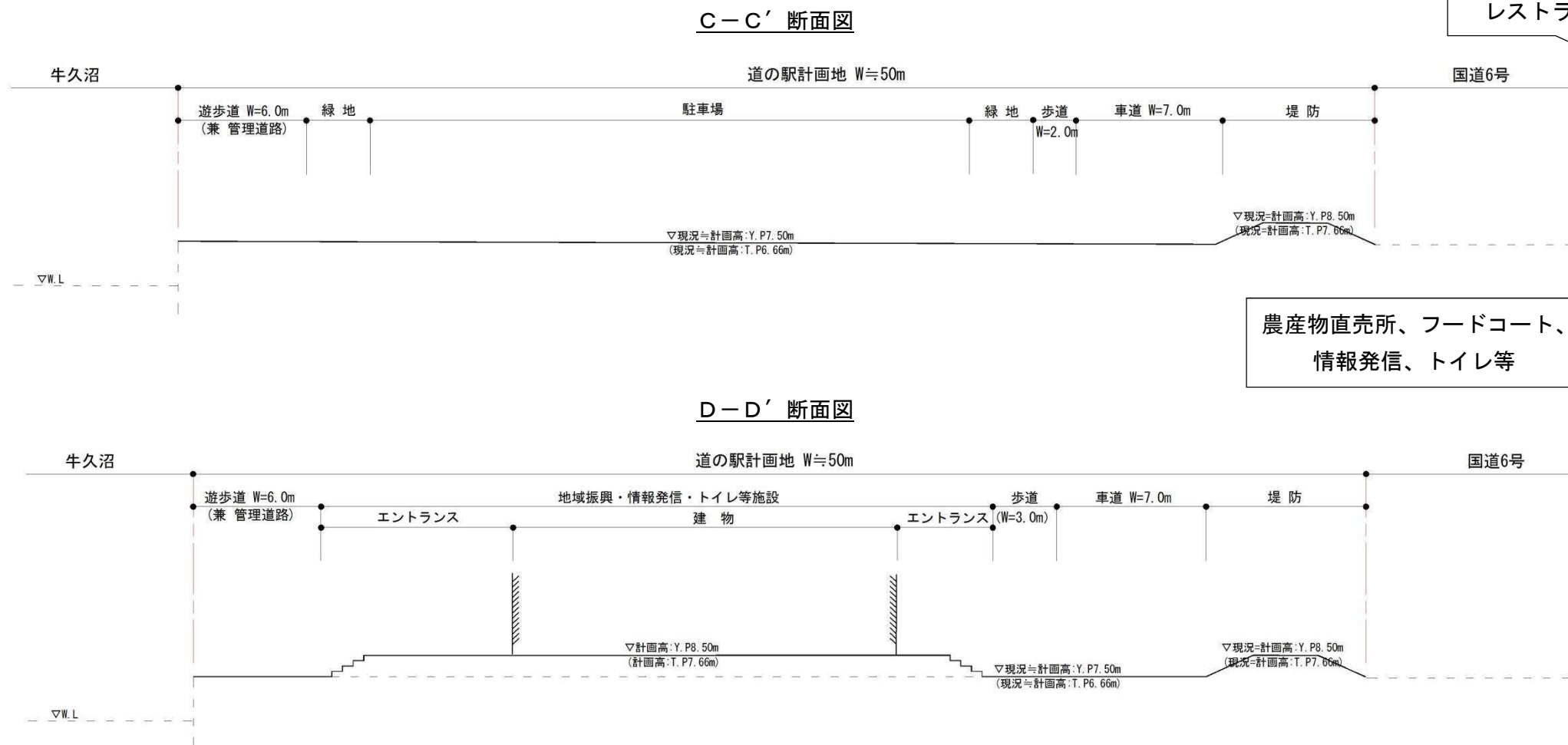
### ● 検討条件

- ・ 検討区域（計画地）は龍ヶ崎市・河内町共有地の約 3.2ha、うち道の駅施工区域は約 2.5ha を予定
- ・ 国道 6 号への接続は 2カ所、北側出入口については下り交通（左折イン・左折アウト）のみ
- ・ 計画地盤高は Y.P.+7.50（T.P.+6.66）ほぼ現況高とし、建物のみ床面を Y.P.+8.50（T.P.+7.66）とする
- ・ 既存の堤防（高 1.0m、幅 7m）及びゲート（逆流防止のための施設 1 箇所）とも残す
- ・ 牛久沼側には、牛久沼活用的一端を担うために遊歩道を設置

### ● 検討方針

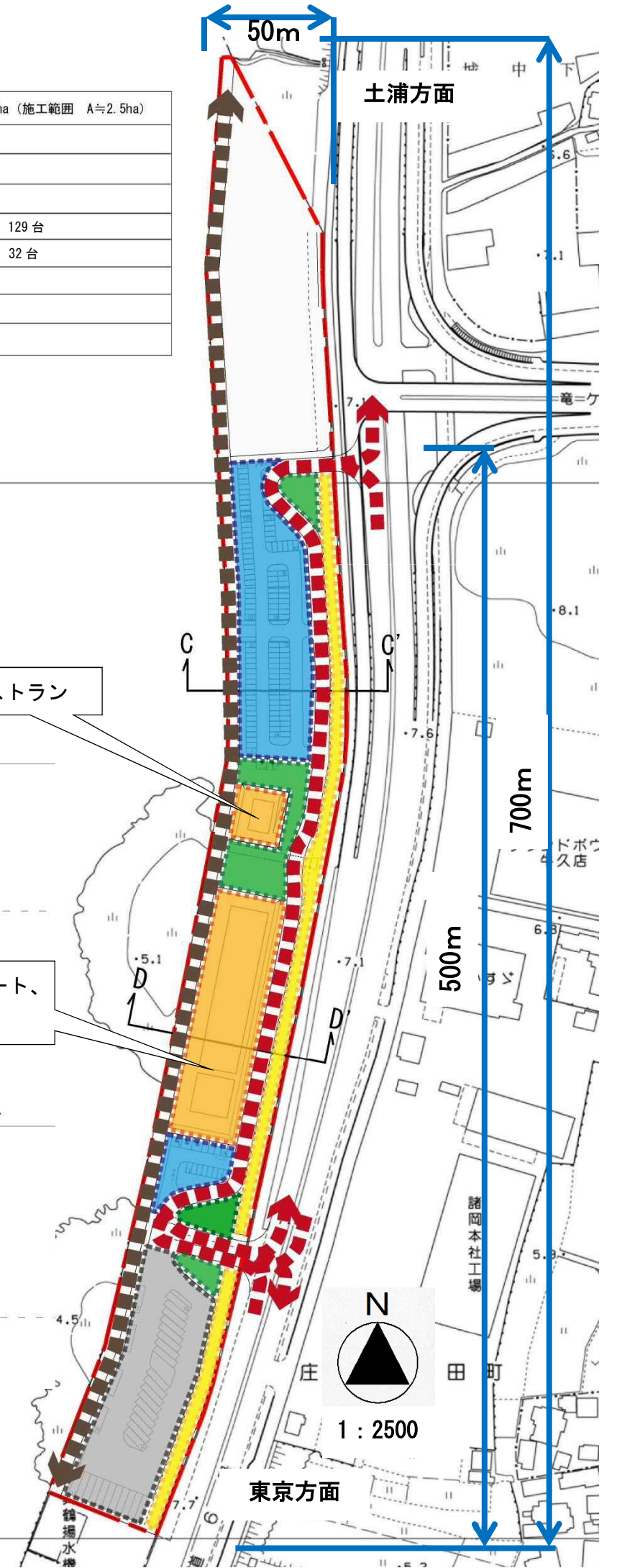
- ・ 地域振興（農産物直売所、フードコート等）、休憩施設（情報発信、トイレ）は計画地の中心に配置、規模は 1,620 m<sup>2</sup>を想定
- ・ レストランは、地域振興施設と分け差別化を図る。規模は 150 m<sup>2</sup>を想定
- ・ 地域振興施設、休憩施設等の建物は、地上から 1.0m 上げるためバリアフリー対策としてスロープ設置で対応
- ・ 堤防により歩行者出入口も車両出入口の 2カ所に限られる
- ・ 小型車用駐車場は 129 台（身障者用 5 台、集荷用 4 台含む）を想定
- ・ 大型車用駐車場は 32 台を想定
- ・ レストラン周りの緑地広場は、イベント広場等として活用（約 1,300 m<sup>2</sup>）

	計画地	A≒3.2ha（施工範囲 A≒2.5ha）
	車両動線	W=7.0m
	遊歩道（歩行者動線）	W=6.0m
	地域振興・情報発信・便所等施設	
	駐車場（小型車用）	小型車 129 台
	駐車場（大型車用）	大型車 32 台
	緑地広場	
	堤防・ゲート	



レストラン

農産物直売所、フードコート、  
情報発信、トイレ等





## ■ C案

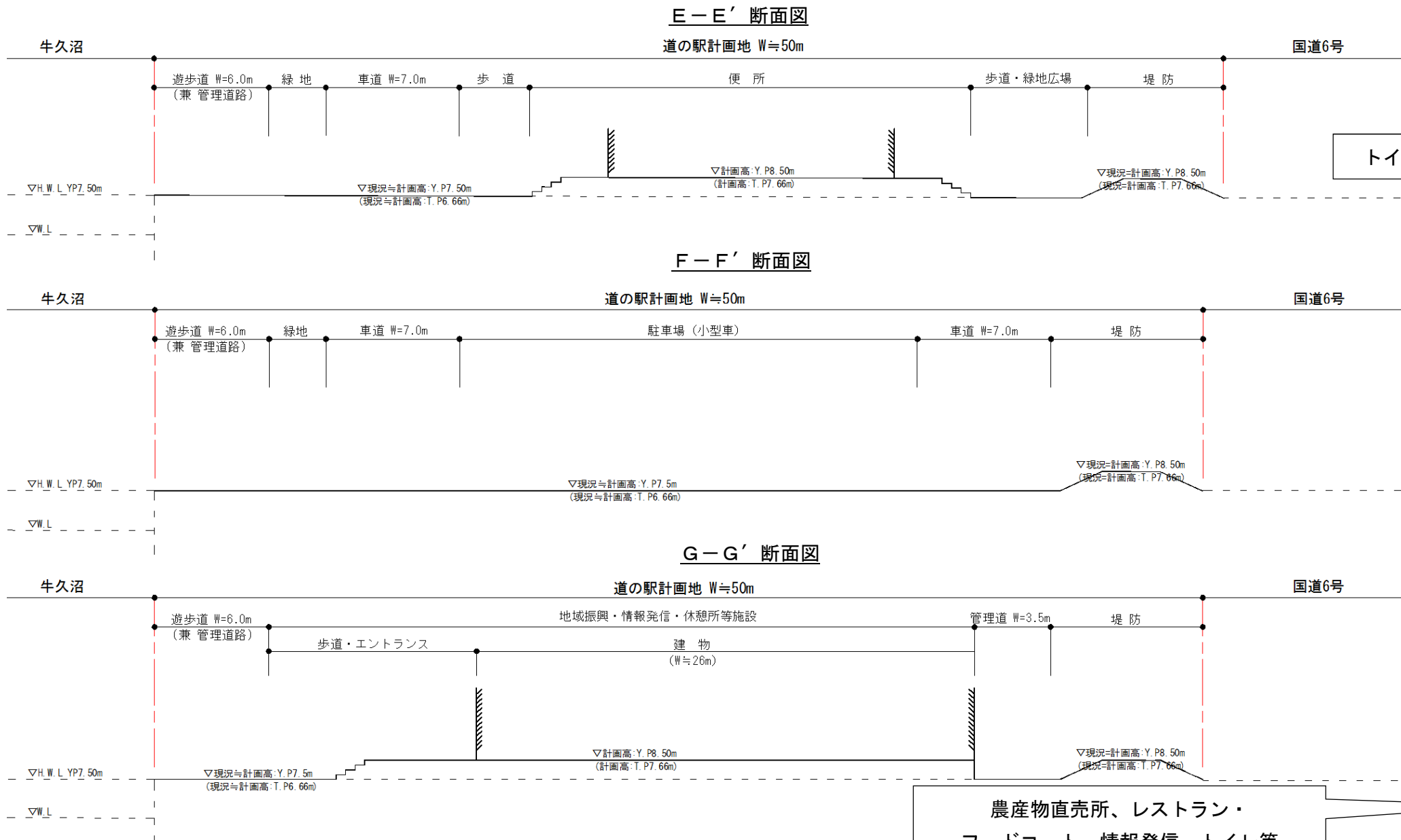
### ● 検討条件

- ・ 検討区域（計画地）は龍ヶ崎市・河内町共有地の約 3.2ha、うち道の駅施工区域は約 2.5ha を予定
- ・ 国道 6 号への接続は 2 カ所、北側出入口については下り交通（左折イン・左折アウト）のみ
- ・ 計画地盤高は Y.P.+7.50（T.P.+6.66）ほぼ現況高とし、建物のみ床面を Y.P.+8.50（T.P.+7.66）とする
- ・ 既存の堤防（高 1.0m、幅 7m）及びゲート（逆流防止のための施設 1 箇所）とも残す
- ・ 牛久沼側には、牛久沼活用的一端を担うために遊歩道を設置

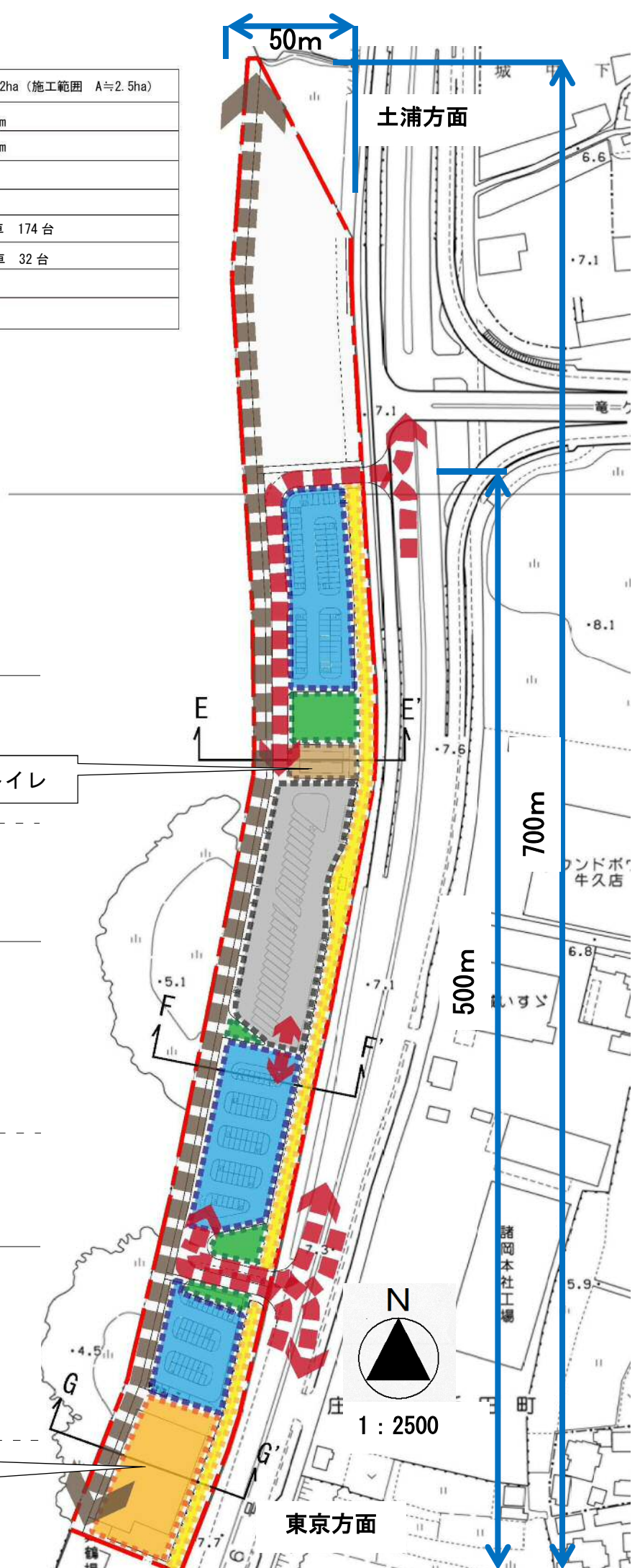
### ● 検討方針

- ・ 地域振興、情報発信、便所等施設は他 2 案と違い整形で配置することを目的に南側に配棟、規模は 1,770 m<sup>2</sup>を想定
- ・ 便所は 2 カ所、概ね中心から南北に 150m の範囲で設置
- ・ 地域振興施設、休憩施設等の建物は、地上から 1.0m 上げるためバリアフリー対策としてスロープ設置で対応
- ・ 堤防により歩行者出入口も車両出入口の 2 カ所に限られる
- ・ 小型車用駐車場は 174 台（身障者用 4 台、集荷用 4 台含む）を想定
- ・ 大型車用駐車場は 32 台を想定
- ・ 北側トイレに隣接する緑地広場は、イベント広場等として活用（約 700 m<sup>2</sup>）

	計画地	A≒3.2ha（施工範囲 A≒2.5ha）
	車両動線	W=7.0m
	遊歩道（歩行者動線）	W=6.0m
	地域振興・情報発信・便所等施設	
	便所	
	駐車場（小型車用）	小型車 174 台
	駐車場（大型車用）	大型車 32 台
	緑地広場	
	堤防・ゲート	



農産物直売所、レストラン・  
フードコート、情報発信、トイレ等



## 参考資料

表－3. 茨城県内の既存「道の駅」の管理・運営主体他

種別（所在地）	前面道路	管理・運営主体	施設規模
豊かな自然と故郷の特産品に出会える道の駅 ①道の駅かつら （茨城郡城里町）	国道123号 小型車：6,543台/日 大型車：609台/日	株式会社桂ふるさと振興センター （第三セクター）	敷地面積：0.8ha 建物延床面積：460m <sup>2</sup> （うち、売場延床面積213m <sup>2</sup> ） 駐車場：小型車用110台分、大型車用6台分、障がい者用2台分
おいしい、楽しい、あたたかい 星の産地からのおくりもの ②道の駅みわ （常陸大宮市）	国道293号 小型車：3,285台/日 大型車：788台/日	株式会社ふるさと活性化センターみわ （第三セクター）	敷地面積：1.2ha 建物延床面積：1,474m <sup>2</sup> （野菜直売：408m <sup>2</sup> 、ショップ：62m <sup>2</sup> 、レストラン：68m <sup>2</sup> ） 駐車場：小型車用80台分、大型車用5台分、障がい者用5台分
空と山が交差する望郷の地 常陸太田市里美地区 ③道の駅さとみ （常陸太田市）	国道349号 小型車：5,637台/日 大型車：1,202台/日	農業組合法人里美特産物生産販売組合	駐車場：小型車用15台分、大型車用7台分、障がい者用2台分
水辺に遊び 道に憩うリバーサイドステーション ④道の駅さかい （猿島郡境町）	（主）結城野田線 小型車：15,567台/日 大型車：8,593台/日	境町観光協会	駐車場：小型車用112台分、大型車用13台分、障がい者用2台分
水映え 四季の香薫る自然豊かな温泉の液 ⑤道の駅奥久慈だいが （久慈郡大子町）	国道118号 小型車：12,387台/日 大型車：1,412台/日	財団法人大子町開発公社	駐車場：小型車用75台分、大型車用6台分、障がい者用2台分
花と水と緑に囲まれた街 ⑥道の駅しもつま （下妻市）	国道294号 小型車：12,976台/日 大型車：4,547台/日	株式会社ふれあい下妻 （第三セクター）	駐車場：小型車用71台分、大型車用53台分、障がい者用1台分
「水」と「緑」豊かな町 ⑦道の駅たまつくり （行方市）	国道354号 小型車：9,229台/日 大型車：2,427台/日	財団法人行方市開発公社 （第三セクター）	敷地面積：0.3ha 建物延床面積：513m <sup>2</sup> 駐車場：小型車用55台分、大型車用10台分、障がい者用2台分
のどかな水郷情緒あふれる街 ⑧道の駅いたこ （潮来市）	（一）潮来佐原線 小型車：10,646台/日 大型車：1,366台/日	株式会社いたこ （第三セクター）	建築面積：1,740m <sup>2</sup> （うるおい館：690m <sup>2</sup> （総合案内、アンテナショップ、食堂等）） 多目的広場：500m <sup>2</sup> 、情報棟：97m <sup>2</sup> 、トイレ：146m <sup>2</sup> 駐車場：小型車用266台分、大型車用17台分、障がい者用3台分
心と緑のハーモニー ⑨道の駅ごか （猿島郡五霞町）	新4号国道 小型車：10,142台/日 大型車：16,247台/日	株式会社五霞まちづくり交流センター （第三セクター）	施設面積：約0.13ha（農産物・花卉直売所：336m <sup>2</sup> 、加工施設・レストラン：550m <sup>2</sup> 他） 駐車場：小型車用68台分、大型車用67台分、障がい者用2台分
再発見、新発見 ぐるり こが ⑩道の駅まくらがの里こが （古河市）	国道4号 小型車：19,005台/日 大型車：22,124台/日	株式会社ダイナック（代表企業）＋ 三井物産ファシリティアーズ株式会社の共同	敷地面積：約3.5ha 延床面積：2,288m <sup>2</sup> （農産物直売所：約300m <sup>2</sup> 他） 駐車場：小型車用193台分、大型車用35台分、障がい者用3台分
おさかないっばい！おなかも いっばい！おもいでいっばい！ ⑪道の駅日立おさかなセンター （日立市）	国道245号 小型車：22,672台/日 大型車：5,029台/日	日立市（業務委託）他	敷地面積：約1.1ha（一部市道を含む） 建物延床面積：約2,750m <sup>2</sup> （うち、売場延床面積1,980m <sup>2</sup> ） 駐車場：小型車用98台分、大型車用5台分、障がい者用6台分
常陸大宮で味わう！楽しむ！癒される！ ⑫道の駅常陸大宮 （常陸大宮市）	国道118号 小型車：14,673台/日 大型車：2,783台/日	元気な郷づくり株式会社 （第三セクター）	敷地面積：5.6ha 建物延床面積：2,759m <sup>2</sup> （うち、売場延床面積547m <sup>2</sup> ） 駐車場：小型車用130台分、大型車用18台分、障がい者用3台分
常陸太田の大地の恵みを体感でき空間 ⑬道の駅ひたちおた （常陸太田市）	国道349号 小型車：14,391台/日 大型車：727台/日	常陸太田産業振興株式会社 （第三セクター）	敷地面積：2.2ha 建築延床面積：1,822m <sup>2</sup> （うち、売場延床面積約740m <sup>2</sup> ） 駐車場：小型車用130台分、大型車用18台分、障がい者用3台分

※「前面道路」欄の車種別日交通量は、「平成22年度道路交通センサス 一般交通量調査 箇所別基本表（全国道路・街路交通情勢調査）」（国土交通省）による各道の駅近傍区間のものを示します。

※資料：各「道の駅」・設置主体公表資料（公式HP等より）及びアンケート調査（平成28年度実施）他





道の駅奥久慈だいご（平成10年4月登録）



道の駅みわ（平成7年1月登録）



道の駅さとみ（平成7年4月登録）



道の駅しもつま（平成11年8月登録）



道の駅かつら（平成5年4月登録）



道の駅常陸大宮（平成27年11月登録）



道の駅まくらがの里こが（平成25年3月登録）



道の駅日立おさかなセンター（平成26年4月登録）



道の駅ごか（平成16年8月登録）



道の駅さかい（平成8年4月登録）



道の駅ひたちおおた（平成27年11月登録）



道の駅たまつくり（平成12年8月登録）



道の駅いたこ（平成13年8月登録）

※ベース図面：茨城県土木部道路維持課公表資料（公式HP「茨城県内の道の駅」（一部加筆）

茨城県内における「道の駅」の分布状況